

久留米市長 様

事業所の所在地

名称

代表者氏名

電話番号

(担当介護支援専門員の氏名： )

短期入所生活介護の利用について（依頼）

下記の被保険者については、近いうちに認定期間の半数を超える短期入所生活介護を利用する予定で居宅サービス計画を作成しております。

しかし、特段の事情があり、必要性があると考えておりますので、その利用を認めていただきたく下記のとおり申し立てをいたしますので、よろしくお願い申し上げます。

記

1 被保険者氏名及び被保険者番号

2 認定期間及び要介護度      要介護  
令和 年 月 日～令和 年 月 日

3 現在までの利用状況      令和 年 月 日  
令和 年 月 日  
令和 年 月 日  
令和 年 月 日 (利用予定)      合計 日

4 短期入所が必要な理由

※ 本人の身体的状況

※ 本人の認知症の状況

※ 家族の状況及びその介護力

※ 本人及び家族の意向

※ 今後の方向性（当該利用が一時的なものか）

理由書作成例

令和 年 月 日

※あくまで作成例です。この通りでなくても差し支えありません。

久留米市長 様

事業所の所在地

名称

代表者氏名

電話番号

(担当介護支援専門員の氏名： )

短期入所生活介護の利用について (依頼)

療養介護の場合は、2か所を「療養」に書き換えてください。

下記の被保険者については、近いうちに認定期間の半数を超える短期入所生活介護を利用する予定で居宅サービス計画を作成しております。

しかし、特段の事情があり、必要性があると考えておりますので、その利用を認めていただきたく下記のとおり申し立てをいたしますので、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 被保険者氏名及び被保険者番号 ○○ ○○ (0000000000)
- 2 認定期間及び要介護度 要介護○ 令和○○年○○月○○日～令和○○年○○月○○日
- 3 現在までの利用状況
  - 令和○○年○○月 30日
  - 令和○○年○○月 29日
  - 令和○○年○○月 30日
  - 令和○○年○○月 30日 (利用予定) 合計 ○○○日
- 4 短期入所が必要な理由 **※他のサービスでの支援が困難な理由を具体的に記入してください。**
  - ※ 本人の身体的状況 **移動、排泄、入浴等の状況(自立か要介助か)、介助内容、傷病等の状況**
  - ※ 本人の認知症の状況 **認知症の症状、徘徊、暴言、妄想、拒否、火の不始末などの問題行動の有無  
認知症高齢者の日常生活自立度**
  - ※ 家族の状況及びその介護力 **同居家族の有無及び当該家族による支援の有無(就労や高齢等により介護力がない旨)、別居家族とその関わりの状況**
  - ※ 本人及び家族の意向 **施設申込中であり、入所できるまで短期入所生活介護を利用したい 等**
  - ※ 今後の方向性 (当該利用が一時的なものか) **事例を裏面に記載しているので参考にしてください**
    - ・施設等の入所申込をしている (入所までの間の利用を想定している) 状況か。
    - ・施設等の入所申込をしていない場合、認定期間半数超過の理由は何か。
    - ・施設等の入所申込をしていない場合、他のサービス等に関する情報提供はしているか。
    - ・他のサービスを利用すれば解決するのではないか。
    - ・家族の問題等が解決すれば利用しなくてよいのか。

◎添付書類 「居宅サービス計画書 第1表～4表」の写し

- ・第1表・第2表：居宅サービス計画書 (1) 及び (2) 、
- ・第3表：週間サービス計画表
- ・第4表：サービス担当者会議の要点 (本人及び家族の意向、今後の考え方の確認等の協議内容)

※ 今後の方向性（当該利用が一時的なものか）

当該短期入所生活介護を利用している状況が一時的なものであるか、今後どのような支援での生活を希望しているのかを簡潔に記入してください。

<p>・施設等の入所申込みをしているか。</p> <p>本人及び家族は施設入所希望であり、入所できるまでは短期入所生活介護を利用したい意向。 特別養護老人ホーム〇〇〇に入所申込中。（待機順位〇番目）</p>
<p>・施設等の入所申込みをしていない場合、認定期間半数超過の理由は何か。</p> <p>例：在宅希望が強く、主介護者がバリアフリー住宅への建て替えを〇〇年〇月に行っている。 工事期間中はやむをえず短期入所生活介護を連続利用していたが、〇〇年〇月に完成したため、現在は週２回の利用に戻っている。</p>
<p>・家族の問題等が解決すれば利用しなくてよいのか。</p> <p>例：同居家族の就労が週４回あり、そのときに短期入所生活介護の利用をしているが、<u>今後仕事の量を減らして週２回程度にする見込み</u>であり、利用日数は減っていく見込みである。</p> <p>例：同居家族の就労が週４回あり、そのときに短期入所生活介護の利用をしているが、<u>令和〇年〇月に定年退職</u>するため、その後は在宅で介護できる日が増える見込みである。</p> <p>例：同居の主介護者が<u>入院した</u>ことにより、<u>やむをえず短期入所生活介護を連続利用</u>していたが、既に〇〇年〇月に退院しており、現在は週２回の利用に戻っている。</p>
<p>・他のサービスを利用すれば解決するのではないか。</p> <p>例：<u>介護支援専門員からは小規模多機能型居宅介護の利用等を推奨しているものの、本人の意向として通所リハビリと組み合わせて在宅生活を継続したいとの意向があるため、小規模多機能型居宅介護の利用には至っていない。</u>なお、リハビリが〇〇年〇月に一旦終了する見込みであるため、その後は小規模多機能型居宅介護の利用を検討している。</p>
<p>・他のサービス等に関する情報提供はしているか。</p> <p>例：他のサービスの利用について、<u>介護支援専門員からは小規模多機能型居宅介護の利用等も推奨しており、試行的に令和〇〇年〇月に利用してみたが、暴言や介護拒否等の問題行動がみられたため、やむをえず短期入所生活介護に戻って利用している。</u></p>